

糖尿病教室と検査室のかかわり

今田 千鶴、中澤 浩世、松本 奈津子、
辻ノ上 久美子、辻 良史（町立吉野病院）

【はじめに】

当院は奈良県南部に位置する、高齢者率 33.9% の町立病院で、糖尿病を中心に受診される患者さんは内科で 14% を占め、定期的に受診されている。平成 10 年より糖尿病教室が開催され、途中医師の移動に伴い中断されていましたが、平成 17 年から再開され、現在 7 期を終了した。

【教室の状況】

今回総受講者数 47 名（1 回定員 10 名）

平均年齢 68.6 歳（男性 20 名女性 27 名）

【教室内容】

1 日目 午後 1 時 30 分開始

医師	30 分	糖尿病とは
管理栄養士	60 分	食品交換表について
臨床検査技師	30 分	測ってみよう自己血糖
理学療法士	20 分	運動療法について

2 日目 午後 1 時 30 分開始

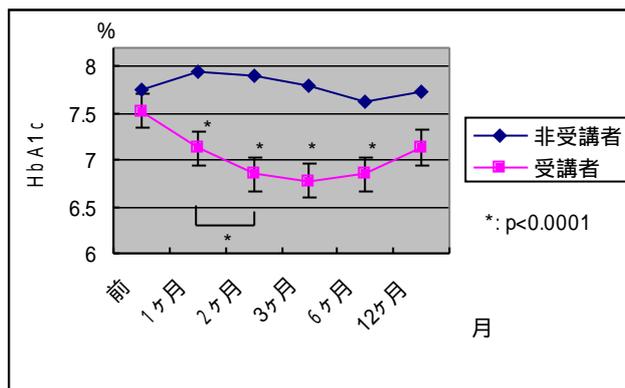
薬剤師	30 分	薬の話
看護師	30 分	日常生活、フットケア について
管理栄養士	60 分	食事療法の実際
スタッフ全員	30 分	質問コーナー、 アンケート記入

【検査技師の教室指導内容】

1. それぞれ個人の血糖、グリコヘモグロビンのデータ配布
2. 尿糖と血糖の関係について
3. 血糖の経時的変化について
4. グリコヘモグロビンの意味説明を模型を使って説明
5. 合併症について

6. 最後に自己血糖測定を実施

【教室受講後のデータ変化】



【結果】

1. 教室受講生 47 名と無作為に選んだ定期的受診者 50 名のグリコヘモグロビンの平均データの比較において、受講された方たちは、明らかにグリコヘモグロビン値の低下がみられた。
2. 受講生群において、受講前に比べ 6 ヶ月は有意にグリコヘモグロビン低下がみられ、1 年後に有意差が認められなくなった。

【検査室のかかわり】

1. 糖尿病療養指導士 5 名（管理栄養士、薬剤師、看護師、臨床検査技師 2 名）
2. 院内糖尿病教室会議（約 2 ヶ月に 1 度程度）
3. 糖尿病教室テキスト作成
4. 糖尿病教室受け持ち 30 分
5. SMBG 予約による個人指導
6. SMBG の保守、点検

（0746-32-4321 内 3110）